ふるさとおもしろ統計学

2000年国勢調査の勘所

県人口の増加，どれくらい？

10月1日は国勢調査の日です。9月下旬から国勢調査員がみなさんのお宅にお伺いし，調査票を配布しますので御協力をお願いします。この国勢調査は我が国に住んでいるすべての人を対象とする国の最も基本的な統計調査で，国内の人口や世帯の実態を明らかにするため，5年ごとに行われます。そこで，今回は2000年国勢調査の勘所を3点ほど紹介します。

● 茨城県の総人口は？

本県の総人口は，大正9年（1920年）の第1回調査では1,350,400人でしたが，前回平成7年（1995年）の第16回調査では2,955,530人で，75年間に2.2倍になりました。また全国順位は第1回の13位から11位に上がっています。

近年全国的に人口の伸びが鈍化していますが，本県の人口増加はどれくらいか関心が集まっています。

● 人口が増えている地域は？

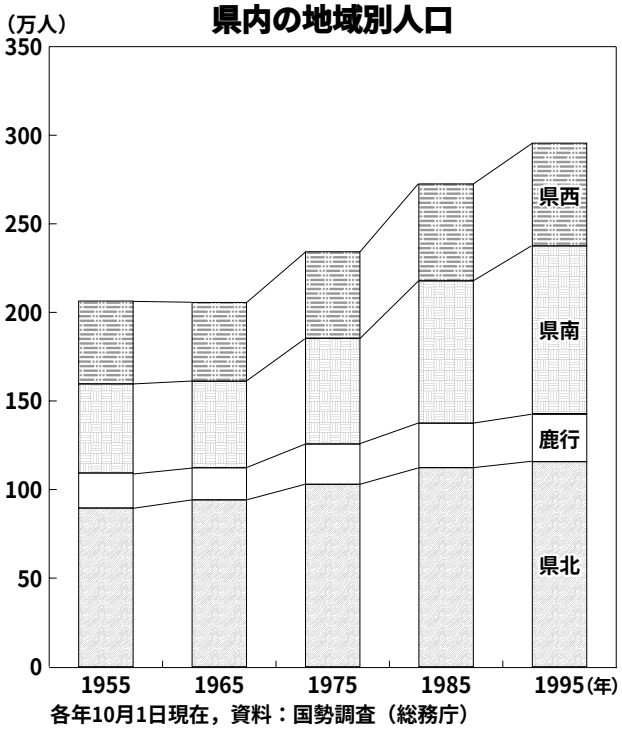
地域別に人口の推移をみると，県南地域は，昭和40年代に着手された筑波研究学園都市の整備をはじめ，東京通勤圏にある常磐線沿線の地域開発等でこれまでは人口が増加してきています。県の常住人口調査結果では，昭和46年以降平成7年まで，人口増加率第１位は県南地域の市町村でした。特に旧桜村（つくば市）は昭和49年から4年連続，守谷町は昭和57年から9年連続第1位でした。各地域の特色をいかした均衡ある発展を考えるうえで，各地域の動向が注目されるところです。

● 年齢別人口は？

第1回調査の大正9年と前回調査の平成7年とを比較してみると，年少人口（0～14歳）の割合は約3人に１人から6人に１人へと減少し，老年人口（65歳以上）は約16人に１人から7人に1人へと増加しています。今後さらに少子高齢化が進むと思われますが，この対策を考えるためにも，今回の国勢調査の結果が待たれるところです。

（県統計課）

平成12年9月9日掲載



※「ふるさとおもしろ統計学」は第2，第4土曜日，茨城新聞に掲載されています。

ふるさとおもしろ統計学

県版レッドデータブック（動物編）

絶滅のおそれ263種

心地よい涼風が吹き，日に日に秋が深まっています。自然の中に出かけるには最適な季節となってきましたね。野山を歩いていると，たくさんの生き物たちに出会えることでしょう。

しかし，近年の都市化などによる自然環境の変化が，彼らの生息環境にも影響を及ぼしています。「茨城県版レッドデータブック（動物編）」によると，県内に生息する野生動物のうち，絶滅のおそれが生じているものとして263種が選定されています。この中には，国の天然記念物に指定されているヤマネや，身近な魚で童謡にも歌われたメダカも選定されています。

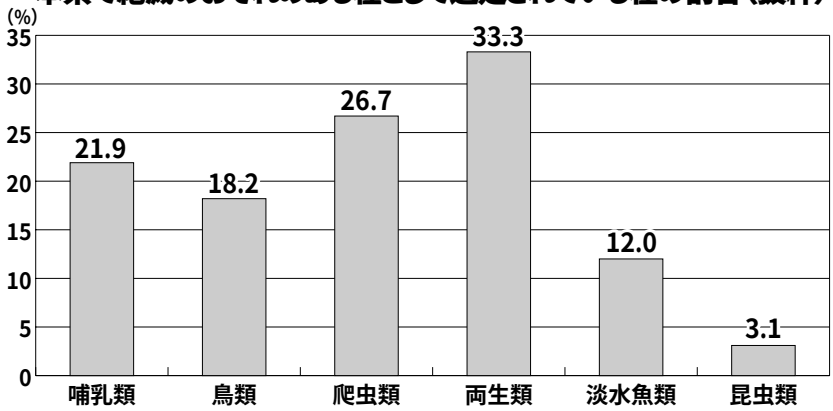
野鳥においては，豊かな自然に恵まれた本県の地勢が，鳥たちの生息環境に適しており，全国の野鳥の種類の約60%，369種の野鳥を見ることができます。大まかに陸鳥と水鳥に分けると，大小河川や多くの湖沼などの豊かな水系を反映して，陸鳥156種に対し213種と水鳥のほうが約1.4倍多く見ることができます。これら野鳥の中にも，存続を脅かされている種が存在しています。67種がレッドデータブックに選定されており，県内で確認されている野鳥の約18%に当たります。冬に湖沼地帯へ渡来するオジロワシや県北の山で見られるクマタカなどは全国的にも，その存続が危ぶまれています。また，夏に県北の山へ渡来しブッポウソウ（仏法僧）と鳴くことで知られるコノハズクは，樹齢の古い混交林の減少などで絶滅の危機に瀕しています。

自然界は，多種多様な野生生物が存在することで，互いに影響し合いながら微妙なバランスを保っています。ある種の絶滅によりそのバランスが崩れると，野生生物たちだけでなく私たちも含めた生態系全体に大きな影響が及びます。身近な自然を見直し，守り，育み，自然界のバランスを保っていくことが，私たちの責務と言えるのではないでしょうか。

（県統計課）

平成12年9月30日掲載

本県で絶滅のおそれのある種として選定されている種の割合（抜粋）



	哺乳類	鳥　類	爬虫類	両生類	淡水魚類	昆虫類
本県で絶滅のおそれがある種	7	67	4	5	17	147
本県で生息が確認されている種	32	369	15	15	142	4,695

資料：茨城県版レッドデータブック（県環境政策課）

(注)　レッドデータブック……絶滅のおそれのある野生生物をリストアップし，その状況をまとめた報告書

※「ふるさとおもしろ統計学」は第2，第4土曜日，茨城新聞に掲載されています。

【新着資料案内】９９９９９９９９９９９９９９９９９９９９９９９９９【新着資料案内】

この資料は、平成12年8月中に行政情報センターに到着した主なものです。ご利用ください。
行政情報センター　茨城県庁舎3階　TEL 029－301－2152

行政資料名	編集・発行所(者)	行政資料名	編集・発行所(者)
中央省庁関係		**茨城県関係**	
建設白書　2000	建設省	茨城県の人口（町丁字別）　平成12年４月１日現在	統計課
地方財政白書　平成12年版	自治省	茨城県勢要覧　平成11年版	〃
経済白書　平成12年版	経済企画庁	情報化のあゆみ　No.30	情報政策課
消費動向調査年報　平成12年版	〃	茨城の労働経済　平成11年版	労働政策課
小売物価統計調査年報　平成11年	総務庁	労働契約・就業規則・労働協約の手引	〃
貯蓄動向調査報告　平成11年	〃	一年のあゆみ　平成11年度	消費生活センター
統計調査総覧　平成11年　国（省庁等）編	〃	生活行政の概要　平成12年度	生活文化課
統計調査総覧　平成11年　地方公共団体（都道府県・市）編	〃	青少年育成関係概要　平成12年度	女性青少年課
毎月勤労統計調査年報　平成11年	労働省		
労働白書　平成12年版	〃		

編集後記

統計グラフコンクールの県審査会に参加しました。私が小学生の時に作った作品よりも格段にレベルの高いものばかりでした。

なお，審査会で入選した作品は来月号で紹介する予定です。

（T.I）

統計いばらき　2000. 10　No.557

平成12年10月発行

編集兼発行／茨城県企画部統計課
茨城県統計協会
〒310－8555　水戸市笠原町978－6
電　話　029－301－2637
ＦＡＸ　029－301－2669

印刷所／冨士オフセット印刷株式会社